

オリンピック・パラリンピックを契機とした  
地域活性化研究会 報告書

平成 27 年 6 月

内閣府経済社会総合研究所

本報告書は、平成 26 年度に内閣府経済社会総合研究所地域ユニットに設けられた「オリンピック・パラリンピックを契機とした地域活性化研究会」の内容をまとめたものである<sup>1</sup>。

## 目 次

調査概要	1
はじめに	2
第 1 章 総論	4
1.1 報告書の視座と目的	
1.1.1 東京 2020 大会に向けた主な動き	
1.1.2 地方自治体に関連する動き	
1.1.3 本報告書の視座	
1.2 オリンピック・パラリンピックとは	
1.2.1 文化の祭典としてのオリンピック・パラリンピック	
1.2.2 全国の地方自治体に地域活性化のチャンスが	
1.2.3 「まだ 5 年ある」ではなく「あと 5 年しかない」	
1.3 東京 2020 大会が目指すもの	
1.3.1 「課題解決先進国」としてのオリンピック・パラリンピック	
1.3.2 2012 年ロンドン大会に学ぶ	
1.4 オリンピック・パラリンピックと地域活性化	
第 2 章 地域活性化各論	14
2.1 東京 2020 大会——文化プログラムによる地域活力の創出	
2.1.1 はじめに	
2.1.2 吉本委員のプレゼンテーション、基調講演から	
2.1.3 むすびに	
2.2 メガスポーツイベントとツーリズム	
2.2.1 はじめに	
2.2.2 スポーツイベントによる効果	
2.2.3 東京 2020 大会の位置づけ	

---

<sup>1</sup> 執筆内容は 2015 年 4 月現在による。

- 2.2.4 2020年までにすべき取組について
- 2.2.5 おわりに
- 2.3 食文化と地域活性化
  - 2.3.1 東京大会と日本の食文化
  - 2.3.2 地方自治体への提言  
コラム：パブリックアートによる地域の創造
- 2.4 伝統工芸と地域ブランド
  - 2.4.1 はじめに
  - 2.4.2 伝統工芸再興の事例
  - 2.4.3 「部外者」と創る伝統工芸の未来
  - 2.4.4 むすびにかえて・伝統工芸と地域活性・
- 2.5 健康・医療・福祉のためのまちづくり
  - 2.5.1 はじめに
  - 2.5.2 パラリンピックに必要な社会環境
  - 2.5.3 超高齢化社会における我が国の課題
  - 2.5.4 健康医療福祉都市構想
  - 2.5.5 医療を中核とした都市開発モデルから世界貢献へ
- 2.6 青少年育成
  - 2.6.1 オリンピックと青少年交流
  - 2.6.2 東京2020大会での青少年文化交流と地方再生の提案

第3章 自治体の取組 -----77

- 3.1 神奈川県小田原市「地域の取組フレームづくり」
  - 3.1.1 小田原市の概要
  - 3.1.2 オリンピック・パラリンピック対応のきっかけ
  - 3.1.3 推進体制の説明
  - 3.1.4 この機会を地域活性化にどう生かすか
- 3.2 埼玉県所沢市「パラリンピックに注目したまちづくり」
  - 3.2.1 所沢市の概要
  - 3.2.2 PTの取組
  - 3.2.3 所沢市が目指す福祉社会
  - 3.2.4 所沢市の取組からの示唆